

秋田八幡平クマ牧場の対応について

生活衛生課

1 これまでの経緯について

- 平成24年4月20日秋田八幡平クマ牧場における事故発生後、地元住民の不安解消と動物愛護の観点から、緊急措置として県職員を派遣するとともに、非常勤職員を6月からは3名、11月からは5名雇用し、給餌や施設の点検などを行ってきた。
- これと併せて、国内のクマ牧場や、全国の動物園に対し（公社）日本動物園水族館協会を通じて、クマの受入れをお願いし、受入れの意向が示された4施設との間で協議を進めてきたところ、8月24日に北秋田市長から、阿仁熊牧場へのヒグマを含む全頭の受入れについて申し出があった。
- この申し出を受け、県としては、動物愛護管理法で容認されている殺処分（安楽死）による県のイメージダウンや地域振興など、全県的な見地から総合的に判断し、全頭を阿仁熊牧場へ受け入れていただくこととし、11月にはツキノワグマ6頭を阿仁熊牧場へ移送した。
- 残るヒグマ20頭については、北秋田市と協議を重ねた結果、阿仁熊牧場と一体として管理することやツキノワグマにも活用することなどを考慮し、同牧場に隣接して新たな受入施設を建設することとした。
- 12月県議会において、北秋田市が行う施設整備のための設計費を補助する予算案が全会一致で可決されるとともに、北秋田市議会においても設計費に関する予算案が意見を付して可決された。

【北秋田市議会産業建設委員会（付帯意見）】

- 1 本年4月に発生した秋田八幡平クマ牧場の惨劇が二度と起こり得ないように徹底した安全対策を施すこと。
- 2 当市に新たな財政負担が生じないよう県と十分に協議し、確約を受けること。
- 3 単にクマを受け入れることだけにとどまらず、施設運営に工夫を凝らし、地域文化の継承、発展に寄与し、地域振興を積極的に推進すること。

- 新たな施設整備に当たっては、県が全額補助することや、クマの受入れに伴い増加する運営費に支援していくなどの「秋田八幡平クマ牧場の対応に関する覚書」を12月26日に、知事と北秋田市長との間で締結している。
- 北秋田市では平成25年1月9日にヒグマ受入施設の実施設計について入札を行い、5社が応札した結果、秋田市の業者が落札している。
- 1月25日には、県がこれまでに行ってきた対応や支援について、県民の理解を得るために「秋田八幡平クマ牧場の対応について（Q&A）」を作成し、県の各地域振興局に配付しているほか、県のウェブサイト「美の国あきたネット」に掲載している。

2 秋田八幡平クマ牧場に対する意見について

- 知事への手紙やメールなどで寄せられた意見は、2月14日現在で別添のとおり228件となっているが、12月10日に開催された福祉環境委員会以降に寄せられた意見は5件であり、その内訳は「殺処分に反対」が2件、「殺処分を容認」が3件となっている。

3 今後の対応について

- 北秋田市が発注したヒグマ受入施設の設計業務については、大雪の影響などにより「地形測量」ができず、設計の完了が5月にずれ込む見込みとなったことから、6月議会に工事請負費を補助するための補正予算を提案し、秋までにはクマの移送を終えることとしている。
- また、阿仁熊牧場の円滑な運営を図るため、県内外の動物愛護団体、学識経験者などの専門家からなる「阿仁熊牧場利活用推進協議会（仮称）」を立ち上げ、イベント誘致、各種大会の開催や環境学習の場の提供などによる入場料の増収、クマに関する調査研究などについての検討を行う。

【今後のスケジュール】

- 平成25年 5月：受入施設の設計完了
- 6月：補助金（工事請負費）に係る補正予算提案（県・北秋田市）
- 7月：受入施設の工事着工、「阿仁熊牧場利活用推進協議会（仮称）」の立ち上げ
- 11月：クマの移送（ヒグマ舎完成次第）
- 12月：受入施設の工事完了

- 今回の秋田八幡平クマ牧場の事故を踏まえ、知事が改めて1月11日に、県選出の国会議員とともに環境省田中環境副大臣、伊藤自然環境局長と面談し、こうした事故が二度と起こらないよう動物愛護管理法の改正や、本県の事故対応等に対して財政支援を行うよう要望したところであり、今後とも、国に対して、あらゆる機会において様々な観点から支援していただくよう、粘り強く働きかけていくこととしている。

クマの殺処分に関する意見等について

○秋田八幡平クマ牧場への対応について、これまで228件の意見が県に寄せられている。
 劣悪な飼育環境に対する批判など「その他」を除いた151件が残されたクマに関する意見となっているが、「殺処分に反対」する意見が131件(87%)と大半を占めている。
 ○このうち、12月10日以降については、「殺処分に反対」が2件、「殺処分を容認」が3件、計5件の意見が寄せられている。

◎ 集 計(2月14日現在)

総件数
228

主な内容		
残されたクマの取扱い		その他
殺処分に反対	殺処分を容認	
129 → 131(87%)	17 → 20(13%)	77 → 77
151 (100%)		
223 → 228		5 件 の増

○ 内 訳

・知事への手紙

件数		
県内	県外	不明
15	55	9
79		

主な内容		
殺処分に反対	殺処分を容認	その他
46 → 47	3 → 4	28 → 28
(県内8)(県外34)(不明5)	(県内3)(県外1)	(県内4)(県外20)(不明4)
77 → 79		2 件 の増

・メール

件数
69

主な内容		
殺処分に反対	殺処分を容認	その他
43 → 43	5 → 6	20 → 20
68 → 69		1 件 の増

・電話

件数		
県内	県外	不明
14	37	29
80		

主な内容		
殺処分に反対	殺処分を容認	その他
40 → 41	9 → 10	29 → 29
(県内7)(県外19)(不明15)	(県内3)(県外4)(不明3)	(県内5)(県外13)(不明11)
78 → 80		2 件 の増

(参 考) 主な意見等について

殺処分に反対

- ・引き取り先が見つかるまで見捨てないでほしい
- ・自然に帰すべき
- ・県のイメージダウンを懸念
- ・餌、寄付などの援助の申し出、提案
- ・人間の都合での殺処分は疑問
- ・人もクマも同じ命

殺処分を容認

- ・県費の投入は理解できない
- ・クマの命が尊重されることへの疑問

その他

- ・劣悪な飼育環境に対する批判
- ・牧場の状況を放置していた県に対する批判

(別紙) 知事への手紙で寄せられた意見等の概要

殺処分反対	熊牧場のような施設は作らない、既存の施設も運営しないで、クマを野生に帰してください。
	熊の状態が悪すぎる。県で引き取り世話をしてください。
	熊たちを直ちに幸せにして、事故が起きないように県の責任として、取るべき行動を取ってください。
	熊の事件は県の責任です。報道で責任を明示してください。そして熊を別の施設で保護してください。
	速やかに市、警察と協力して虐待業者を逮捕し、熊を殺すことなく、適切な飼育を行ってください。
	熊達が自然に帰されるか、自然に近い環境にある施設に移されることを願います。
	県が熊を買い取り、保護して適切な飼育を行うべきです。
	命あるものに心ある対応を、また現在の餌の状況も確認してほしい。
	施設の指導及び許可を正しく行ってほしい。また、熊の面倒を見る道をお考えください。
	クマを自然に帰し、亡くなった方に一人5百万円の弔慰金を出し誠意を示すこと。
	小さな命を大事にできない人が県民を代表するようでは、この国に未来はありません。
	オーナーの後を継いで、クマの世話をする。
	クマのことを心配している日本中の人たちと一緒にクマを助けましょう。
	県を通じてクマのために募金できるようにしては？実効的なことを探しています。
	牧場主が安楽死を考えていると聞いた。県で施設を作るなり、引き取り手を探すなりしてください。
	熊の自由を切望する。射殺された熊の慰霊碑を建ててください。
	観光に活用する(廃線を利用し貨車を引かせる)か、尖閣諸島の見張り番をさせてはどうか。
	熊を安楽死させないでください。29頭の熊たちを助けてください。
	寄付金の口座を準備してほしい。月会費、年会費のように一定期間継続できる形が望ましい。
	安楽死なんて…熊はおもちゃじゃない。助けてください。
	環境を整えて秋田県で運営するなど最後まで責任をもってほしい。
	安楽死はやめてください。生かすべき道を作ってください。
	クマ達を県で買い取り新たに熊牧場として開園してはどうか？
	寄付金を集めて熊を保護するなど、管理して苦しまない方法をとってください。
	安楽死の記事に目を疑う。県として指導できないか？
	残ったクマ達の行く末について努力を継続してください。
	殺処分反対。最後まで暮らせるように。呼びかければ費用は集まる。
	殺処分はひどい。やる気があるならこのクマ達へのカンパ位集まるのでは？
	クマたちを安楽死しないでください。
	最後までクマの命が守られますようお願いしております。
	クマの命を守ることは、生きる希望ともなります。
	「抗争による自然淘汰」を実施するのでしょうか？クマ達に思いやりある対応をお願いします。
	どのようにお手伝いができるのか、県のHPで案内してください。
	殺処分だけはしないでください。
クマ達が心豊かに余生を送れるようにどうかお願いします。	
県の責任は免れない。クマが幸せに天寿を全うできるよう努力してほしい。	
行政がある程度の責任ある態度を示すべき。	
熊達の未来が明るいものとなりますようお取り計らいください。	
経営者に厳重な処罰を。クマ達を守ってください。飼育業者に徹底的な管理通達指導体制をとること。	
日本熊森協会が基金や署名の立ち上げをすることになりました。協力していきます。	
クマのために寄付など行っているのを周知するとともに、クマ達を良い方向に導いてください。	

	クマを飼育して下さることを、うれしく思います。檻に閉じ込めないで！海外からも注視しています。
	クマ達を救う方針を決めてくださり、本当にありがとうございました。
	県費投入にお礼。来年には、クマの元気な姿を見に、貴県へ観光に行く。クマ達に安全安心な環境を提供できるよう期待。
	善意の政策。お米など秋田の食材を毎週買って応援している。これからも、秋田のものを買ったり、観光へ出かけたい。
	クマを自然に近い形で生かしてくれてありがとう。素晴らしい県。
	県費投入は生きている間だけにしてください。
計	47
(別紙) 知事への手紙で寄せられた意見等の概要	
殺処分 に賛成	引取先が見つからないのなら、安楽死することはできないのか。
	倒産した私企業のクマを税金で救うのは納得がいかない。保健所での殺処分が適当だ。
	クマ牧場のクマのために税金を使うことが納得いきません。
	八幡平クマ牧場のクマを毛皮にしてルーマニアに送ってはどうか。
計	4
その他	女性高齢者がクマの世話をするなんて、管理体制の不備。
	玉川も含め同一県での「観光的事故」…問題なかったか？また、身体的能力が衰えた高齢者にあの仕事は適切だったか？
	ニュースを見て、亡くなられた人に対する弔意や謝罪が無かったように感じた。
	熊の飼育状況の改善を期待しています。
	熊の飼育状況は十分だったのか？原因究明をお願いします。
	牧場の経営者にも責任がある。クマがかわいそう。
	秋田県の監督不行き届きです。改善してください。
	あれは虐待です。
	熊の管理状況はあまりにもひどすぎます。勇気ある即時対応を望みます。
	詳細がわからないと言っておきながら管理責任に問題は無いという矛盾。まるで責任を感じていない役人に適切な処分を。
	熊のアウシュビッツを長年にわたり許可してきたことをどう考えるか？
	熊牧場という熊の刑務所のようなモノはなくしてください。
	檻や扉だけでなく、クマの扱い方法や作業手順等が基準を満たしているか当県でも調査してほしい。
	「事案」ではなく「事件」だ。
	このような状況で熊牧場を5年間指導してきたとはよく言えたものです。
	人を殺したのは熊ではなく行政の怠慢以外の何物でもありません。
	閉園決定のようですが、とても不安です。定山溪熊牧場の跡地の悲劇は繰り返さないでください。
	熊射殺は動物愛護の観点から全くもって野蛮行為。知事から管理の徹底と動物愛護の徹底を呼びかけて下さい。
	担当行政官、知事の責任は相当な罪。犠牲者と熊に対して謝罪を求めます。報道の前にて知事の謝罪を求めます。
	弱いクマが犠牲にならないよう飼育方法を改善してください。
	人間だけでなく自然や動物たちのためにも良き行政をお願いします。
	クマサンクチュアリをつくりませんか？
	残酷な熊の扱いを野放しにしている秋田県に強く抗議します。
経営者を取り締まるべき。クマも人間も尊い命。	
他にも悪質業者がいないか取り締まるべき。クマも人間も尊い命。	
生き物を守るための活動をお願いします。	
管理が悪いからこのような事態になった。やるなら「世界の全熊を展示」するくらいの意気込みで取り組んでほしい。	
秋田県が真剣に管理しなかったから死亡事故が起こった。クマ牧場の継続は不可能。	
計	28